

2022年度 秋号

Communication

通信



◆ 発行日 2022年10月 ◆ 発行

〒213-0022 川崎市高津区千年435-10

TEL 044-833-7562

FAX 044-833-7534

認定 NPO 法人 フリースペースたまりば

<https://www.tamariba.org>

E-mail : freespace@tamariba.org

忘れることのできない合宿

4月から小学校教諭企業派遣研修で、こちらにお世話になることになりました「ヒデキ」こと中村俊雅です。1年間よろしくお願いします。

今回の合宿の目的は、「たまりば」の原点である多摩川の自然を感じながらみんなで思い切り楽しむことだ。実は、「たまりば」がスタートした頃に多摩川水源を巡る合宿があった。

1日目。テント張り。自分達のテントは自分達で張る。夢パの屋上で練習した甲斐がありスムーズにテントを張れたように思う。「もっと引っ張って。」「銀マット持ってきて。」声を掛け合いながらテントを張る姿に頼もしさを感じた。

2日目。遊び倒すぞと言わんばかりに心が躍っているのがわかる。各々が好きに過ごす時間。どう過ごすかは自分で決める「たまりば」らしい時間。

川遊び。冷蔵庫に放り込まれたように冷たい。その中でも元気いっぱい、はしゃぎまくる。潜って水の透明さに感激。背浮きをして周りの自然を感じながら一体となる。滑り台からおしりを打ちながらも飛び込む。時間が経つにつれて、川の中の方が居心地良くなる。人体の適応能力の凄さを感じた。ヒデキ感激！最高の思い出はこの川でのかめはめ波。「か〜



め〜は〜め〜波！」川岸にいる数名から川に向かって放たれる。川に

いる数名が「やられたあ。」と言わんばかりに後方へ倒れながら水の中へジャンプ。これは何度やってもハマる。大人も子どもも関係なくとにかく楽しむ。まさにこれだった。

3日目。朝からテンション MAX。朝食のサンドウィッチの美味さがハンパない。肉肉サンドに、焼きそばサンド。ハムチーズサンドに、ジャムサンドなど。一つ一つのサンドが主役。普段、私の朝食はほとんどお茶漬けなのだが、もう止められない。焼そばサンドにマヨ、肉肉サンドにマヨ、マヨの魔法にもかかり、もう止まらない。気付けば8つのサンドをたいらげていた自分に驚いていた。お腹の内臓脂肪を毎日常に気にかけていた自分はすでにそこには居なかった。

そんな美味い朝食を率先して作ってくれたみんなに感謝。特に、ベテランメンバーは調理・片付けだけでなく、いつも自分のできる事を考え、行動する。あらゆる場面でその行動力を実践してくれた素敵な先輩達の背中を見て、後輩が育つ。これからも引き継がれてほしい大切なことだ。

最後まで遊び尽くしたように思えたが、みんなはまだまだ遊び足りない様子。どこにそんな力が残っているのか不思議でならない。ただ、これだけは言える。みんなでのこの合宿をとにかく思い切り楽しんだ。

素敵な思い出のたくさん詰まった夏合宿。みんなの最高の思い出になればと思う。最後はやっぱりあの合言葉をみんなですべて叫ぼう。パワー！（ヒデキ）

認定 NPO 法人
フリースペース
たまりば
って…？

1991年川崎市高津区で、学校や家庭、地域に居場所を見出せない子ども・若者たちの居場所として活動をスタート。2003年にNPO法人の認証を受け、同年7月にオープンした「川崎市子ども夢パーク」内の不登校児童・生徒のための居場所「フリースペースえん」の運営を市より委託される。指定管理者制度の導入により、2006年4月から川崎市生涯学習財団と共同で夢パーク全体（フリースペースえんを含む）の管理・運営を行なっている。さまざまな活動を通じ、学校外の多様な学びと育ち、生き方を支援している。

たまりバラエティ

特設スライダーでおめでとぅ〜!



7月18日(月・祝)、3年ぶりに夢パまつりが開催されました。その週はあいにく雨が続き、当日の天気

が心配されていましたが、夢パの誕生を祝うまつり当日は前日までの雨が嘘のような快晴の空が広がりました。開会の11時を待たずして、夢パまつりのためだけに建設された特別な遊具に子どもたちは大興奮!放水が開始されるのを今か今かと待ちわびる姿がありました。夢パまつりの目玉といえばやはり「スライダー」、夢パのシンボルでもあったタワーが2月に解体されたこともあり、一から作られた特設スライダーは高さ、斜度ともに夢パ史上最高!(いけちゃん調べ)果敢に挑戦する子どもたちで長蛇の列ができていました。閉会が近づく頃には毎年おなじみの泥合戦!誰が誰だかわからなくなるぐらい全身泥んこになって楽しみました!来年は20周年!またみんなでお祝いしようね!(いけちゃん)

えんくるの夏

給食がなくなる学校の長期休み。夏休みだったえんくるには、「ご飯が大変だよ」というお声がたくさん届きました。今年の夏は、餃子の王将さん、全国食支援活動協会のひとり親世帯支援助成等を活用して、お弁当や生鮮食品などの食料をお渡しすることができました。みんなの「おいしかったよ」の笑顔が嬉しいですね。



そんな大忙しの夏が終わり、えんくるに2回目の秋がやってきました。昨年の夏休み延長で始まったカレーランチも1年経ってすっかり第2土曜日の定番に。子ども★きっさも、連日大賑わいです。これもさまざまな方々が食材のご寄付くださったり、ボランティアでお手伝いくださっているおかげです。ありがとうございます!これからも一掃のえんくる応援をお願いいたします。(あき)

※えんくるへのご寄付は、「認定 NPO 法人フリースペース たまりば」 川崎信用金庫 久地支店 普通 3013958

待ちました♪ロスえんクエントロス

9月4日(日)に、『どんなもんじゃ祭(高津区市民活動見本市)』という、高津区の市民活動団体がさまざまな活動の紹介をするお祭りがありました。その舞台パフォーマンスにて、ロスえんクエントロスはフォルクローレの演奏を披露しました。当日、高津区役所に入ってすぐのところがパフォーマンスエリアとなっていて、そこには立ち見の人もいるくらい大勢のお客さんが!最近サンポーニャを始めた子たちや、ボンボの練習に気合いの入っている子たちは、「こんなにたくさんお客さんがいるなんて思ってなかった!」と、ウキウキワクワクな表情を浮かべます。演奏が始まると、会場は手拍子でノリノリに!アンコールもいただいて、合計5曲を披露し、大盛り上がりでした。

またその週の9月10日(土)には、神奈川県のカフェ・フリースペースと、不登校・ひきこもりの当事者やその家族でつくる『フリ・フリ・フェスタ2022』が、3年ぶりに県立青少年センターで開催されました。たまりばは、焼きそばをつくって売ったり、子どもたちが描いてくれた絵を展示したりしました。そして、ここでもロスえんクエントロスでフォルクローレの演奏を披露しました。今年はホールが工事中で、いつもより小さいスタジオ内での発表になりましたが、お客さんとの距離がいつもより近く、会場との一体感が生まれ、お客さんが演奏を楽しんでくれている表情まで見えるほど!楽しみながら演奏し、お客さんが楽しんでくれると、また自分たちが楽しくなる、そんな楽しい連鎖が起きたステージだったように思います。

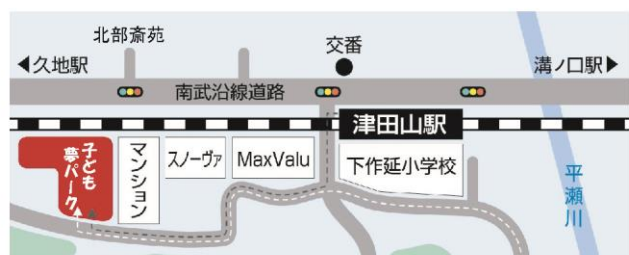
イベントが終わっても、えんではまだまだ冷めやらぬフォルクローレ熱!毎日のように歌やメロディーが聞こえてきます。次のステージはいつだろう?楽しみだね~!(もぐ)



指定管理施設

『やってみよう』がいっぱいある場所です 川崎市子ども夢パーク

川崎市高津区下作延5-30-1
TEL 044-811-2001 FAX 044-850-2059
<http://www.yumepark.net>



ブリュッケだより

～人が育つ場所～



ブリュッケには最近、生後半年の「さっくん」が来ています。ママがブリュッケを利用することになり、一緒に来てくれます。最初の頃は若者たちも戸惑ったようで、泣き止まなくて心配になったり、少し離れたところからそっと眺めて、抱っこは怖々でしたが、今やブリュッケには、さっくんがいる日常ができました。「今日はよく笑うね」「先週より足の力が強くなってきた！」などなど言いながら、交代で抱っこしたり、オムツ交換を手伝ったりしてくれています。「赤ちゃんはいいな」と恥ずかしそうにつぶやいた若者は、自分の子どもの頃にはよい思い出がないと話します。でもまた別の日、さっくんを抱きしめる彼の姿がありました。



さっくんと若者たちを見ていると、過ごす場所とそこにある空気や文化が人を育てるのではないかと感じます。

見守る若者たち、見守られるさっくん、みんなどんな風に育っていくのかな。楽しみです。(三瓶)



HAPPY えんぱりデイ

★夢パの一大イベント・子どもゆめ横丁に向け、えんの子ども達も参加して日々「横丁(Y)楽しく(T)しよう会(K)」の話し合いが行われています。中高生たちは夜 ZOOM を使って話し合い。色々な思いや考えが飛び交いながら、みんなの「やりたい！」のために和気あいあい&賑やかに本気で話し合っているので暖かく見守っててください！(のすけ)

★えんの本棚はいつでもみっちり。手前・真ん中・奥の 3 列で本が収納されている本棚もあります。何の本がどこにあるのか、この本の 2 巻はあるのかなのか、宝探しのように本棚をひっくり返す日々でしたが、そこに颯爽と現れた“本棚整理し隊”!! 本棚の整理整頓、在庫確認、譲渡・処分の検討などなど…。彼らの登場で、どこに何があるのかひと目でわかる本棚が完成しました。ありがとう本棚整理し隊！(はるひ)

★たまりばで頂いたさまざまな食材をうまく組み合わせながら、えん飯の献立を考えるのはまさに頭の体操です。特に同じ食材が大量なときは、どれだけ多彩なメニューができるかが腕の見せどころ。みんなの斬新な発想と工夫で日々新たなオリジナル料理が生まれています。(三好)

西んのつぶやき



認定 NPO 法人フリースペースたまりばが運営している「コミュニティスペースえんくる」。2020 年の 12 月に大型冷凍・冷蔵庫を購入し、翌月 2021 年 1 月からフードパントリーを開始。きっかけは、コロナの感染拡大による学校の休校で給食を食べられなくなった子どもの出現や、失業によって食事が思うように取れなくなった人々の増加でした。

必要な食料をいつでも自由に持ち帰れるフードパントリーを始めた頃は、ひと月 100 kg 程度の食料を扱っていましたが、今では月平均 600 kg 弱。多い月は 900 kg に増えました。コロナ禍の中で、今まで水面下で苦しんでいた生活困窮者があぶりだされるようになりました。人々の平均給与もどんどん下がり続ける中で、ひとり親のみならず、若い夫婦での利用も増えました。おとな 100 円、子ども無料の「えんくる食堂」(限定 50 食)はいつも満員。月水金の放課後 14 時半から 17 時半に開いている「こども☆きつき」(ジュース 1 杯、お菓子 1 個無料)は、多い日は 15 人を超えるようになりました。パントリーに併設した敷居の低い、「支援臭」がしない「相談カフェ」には、役所の窓口では対応してもらいにくい複合的に困難を抱えたケースの相談が増えています。必要に応じてスタッフが手続きのために役所などに同行支援も行うようになりました。いつの間にか区の生活保護課や社会福祉協議会からの紹介で訪ねてくる人が増えたこともあり、安定した持続可能な運営が大きな課題となりつつあります。

そもそも利用者さんからお金がとれる事業ではなく、かといって公的支援は入っていません。今までは助成金をいただいて、なんとか運営を続けてきましたが、今後は経済的自立が求められます。あたりを見渡すと、孤立が広がり、実家がわりに繋がりを求めて「えんくる」を訪れる人々が増えました。相変わらずニーズは高く、やっとなつった「まちのひろば」を簡単に潰すわけにはいきません。

年齢・国籍・障がいのあるなしに関わらず、誰でも利用できるパントリーと居場所の継続のために、月々継続的に運営を支えていただけるマンスリー会員を募集することになりました。近々クラウドファンディングを立ち上げます。えんくるの Facebook や認定 NPO 法人フリースペースたまりばのホームページでご確認ください。ご協力よろしく申し上げます。(西野博之)



川崎若者就労・生活自立支援センター
ブリュッケ

「Brücke」は、ドイツ語で「かけ橋」。

居場所で人と人がつながり、居場所から地域へ、地域から就労へ、様々なつながりが生まれていく。

そんな人から人への「かけ橋」になっていけたら・・・。

*ブリュッケでは、川崎市内にある福祉事務所のケースワーカーと連携し、15～39 歳までの若者たちの居場所・就労支援を行っています。

インフォメーション

★詳しくは事務局まで★

夢パーク こどもゆめ横丁

11月6日(日)11:00~15:00

夢パークの広場に子どもたち自身が考えつくった“街”が出現！お店も商品も全部手作り♪この“街”は子どもたちが主役です。今年もコロナ対策をしっかりとしながら、みんなの「やりたい」の実現をめざします。

※(当日は、夢パークは 18:00 閉所です。

7日(月)臨時施設点検日のため夢パーク全体がお休みです

8日(火)「えん」はこどもゆめ横丁の代休です

染めのおっちゃんとお野染め

11月24日(木)

京都の染色家・斎藤洋さんと、夢パークの広場で長〜い布をみんなでお染めよう！詳細はHP・かわらばんなどでご確認ください。

★イベント出店(展示)★

★雑居まつり 10月9日(日)13:00~16:00

世田谷区・羽根木公園にて。今年は展示とバザーです。

フリースペースって、どんなところ？

「不登校」「ひきこもり」の子ども・若者の居場所づくりについて、画像等をまじえて「夢パーク・フリースペースえん」の活動紹介と質疑応答など意見交換を行ないます。

第5回 12月17日(土) 10:00~12:00

第6回 2023年2月18日(土) 10:00~12:00

対象 フリースペース(居場所)の活動や、不登校・ひきこもりについて関心のある方
会場 川崎市子ども夢パーク内「多目的室」
参加費 500円 <要予約・先着15人まで>
申込み 第5回 11月2日、第6回 2023年1月5日
ともに12:30から受付開始

※申込みの際は詳細をホームページでご確認ください。

その他のイベント・企画の実施等の変更については、ホームページでご確認をお願いします。

たまりばホームページ <https://www.tamariba.org>

ご支援いただきありがとうございます (2022.6.10~2022.9.9)

NPO法人フリースペースたまりばに、応援会員として会費を入金してくださった方、カンパをいただいた方のお名前です。
(敬称略・順不同。希望されない方は掲載しておりません。
なお、掲載もれなどの不備がございましたら、事務局までご連絡ください。)

森田貴司、佐藤高史、森口幸信、中村公一・勇、宮崎芳正、齋藤こえ子、山本哲也・将也、内田安信、山田恵理子、平野知恵、遠山宗子、竹内昭太郎、清水善幸、野口由美子、梅田浩二、鈴木みしお、イケダヒロキ、白石つや子、岩出孝洋、佐藤研二、佐々木直人、波瀬浩子、宇井新・のどか、岡野匡、小山武史、芝山賢、渡邊敬・未希、橋本誠一・碧、飯沼光津子、木崎志保、浅井輝也、コンペイトウ、矢野泉、長谷川靖子、長谷川啓介、平澤康子、小田琢也、真田朗、田老幸子、安西卷子、新井野誠、赤野一将・香織、小原輝子、藤本オサム、森田奏恵、橋本峻、野田岳志、山口正芳、イロオイヤカ、岡田孝子、安田靖子、今村久美、新居千文、坂上優子、玉川理美、三浦理絵、土橋優平、奥田礼子、西村幹子、山下晴子、新井琴乃、阿比留久美、太田修嗣、三瓶三絵、櫻原雅人、細田和恵、町田恵美、西野博之、能條申子、茂木潤、大和証券川崎支店、山田建設株式会社、有限会社茂々、(株)川崎フロンターレ

応援会員募集中!!

フリースペースたまりばの活動のためにあなたのお力が必要です！

振込先→郵便振替口座 00200-2-57382 特定非営利活動法人 フリースペースたまりば

*郵便局の自分の口座からなら、手数料が無料で振り込めます。

※他金融機関からも入金できるようになりました。口座番号は↓(支店名を「セ」で検索してください)※

○二九(ゼロニキュウ)店 (029) 当座 0057382

詳しくは事務局まで TEL 044-833-7562



コミュニティスペースえんくる

えんくるは、フードパントリーを併設した「まちの広場」です。

子どもはもちろん、誰もが立ち寄れる居場所を目指しています。

〒214-0021 川崎市多摩区宿河原 6-26-24 フジビル1階 TEL: 044-813-5248

公式 LINE

